



NPO法人暴力防止情報スペース・APIS (アピス)



CAP スペシャリスト 資格更新研修で久々にメンバーが揃って懇談中

(2016・3・13)

Index

- とびらの写真(CAP 資格更新研修) 1
- 巻頭言 「最近のお楽しみ」(山田悦子) 2
- APIS 報告 CAP ワークショップ報告 (後藤真幸) 3
- APIS 報告 CAP 資格更新研修報告 (Y・M) 3
- APIS 報告 講師派遣報告 (朴宗筈) 4
- 会員からの報告 第91回ピースポート (池田美とり) 4
- 本の感想 「きみはいい子」と中脇初枝 (佐々木興子) 5
- 映画の紹介 「マイ・インターン」(鈴木登喜子) 5
- APIS 報告 スーパーサイズ (後藤真幸) 6
- APIS 報告 ステークホルダーミーティング (横山恵子) 7
- 活動記録 8



四天王寺夕陽丘保育園 CAP 大人ワークショップで感じたこと



3月12日に四天王寺夕陽丘保育園で大人ワークショップを行いました。

こちらの保育園では、年長組さんの子どもたちが、卒園時に子どもワークショップを受けてから新一年生になるというスケジュールになっています。

これまで、おうちの人と一緒に登園していた子どもたちが、子どもたちだけで小学校に向かう不安、今までは同じ保育園のお友達が、これからはそれぞれ違う小学校に通うという不安、いろいろな不安や期待をもって子どもたちも保護者の方もこの時期を過ごしておられることと思います。

そんな時期に、CAP のワークショップを受けてもらうことが、大人の方や子どもたちの不安を少しでも取り除いてもらうことになればこんなにうれしいことはありません。忙しい中、朝から集まって熱心にワークショップに参加してくださる保護者の方々と、短い時間でしたが有意義な時間を共有できたと思います。

アンケートでCAP はとても大切な取り組みだと思ふという感想をいただきました。そういう感想を読ませてもらうと、CAP スペシャリストをやっている本当によかったなあと思います。

子どもたちの新しい小学校生活が、安心・自信・自由な生活でありますように！



(後藤真幸)

CAP センター・JAPAN 資格更新のための必須研修
就学前プログラムトークタイム研修を受けて

日時 2016年3月13日

場所 大阪市西区民センター



当日は愛知県、三重県からの参加もあり、18名で実施しました。

午前中は、プログラムのフレーム、トークタイムの目的、幼児期の子どもの発達段階を再確認し、保育所、幼稚園との協働の重要性、子どもの安心、自信、自由を保障するための具体的な関わり方について学びました。

印象に残っている内容は、一人の人間に優しい部分と怖い部分があるということが、なかなか理解できず、怖いときの父親と優しい日のお父さんが同じ人物であるということが理解できないということでした。正直ショックでした。父を母に置き換え、振り返ってみたからです。私はこのことを知らずに子育てをしました。子どもの発達段階を理解し、子どもと向き合う重要性を実感した時間でした。

午後は4、5人のグループでトークタイム実習です。センタースタッフが子ども役、各グループから1名がCAPスペシャリスト役を実演し、グループごとに良かった点・改善点・どんな事例だったのかななどを話し合い発表しました。言語化することが難しい幼児期の子どもに対し、五感を研ぎ澄まし、持っている知識を活かしてトークタイムに臨むことが強く求められていると感じました。

研修を終えて、幼児を連れてお母さんを見かけると、学んだことを伝えたい私がいいます。CAPは大切ですね。

(Y・M)